

2013年3月期決算説明会

京成グループ中期経営計画  
「E1プラン」(2010-2012年度)総括  
別冊資料



2013年5月16日  
京成電鉄株式会社

目次



	頁
1. 長期経営計画「Eプラン」の概要	1
2. 中期経営計画「E1プラン」の概要	2
3. 連結対象会社	3
4. 鉄道事業	4~8
5. バス事業	9~11
6. タクシー事業	12
7. 不動産業	13~14
8. 中期経営計画「E2プラン」の概要	15~16
9. <参考資料>	17~22

# 長期経営計画「Eプラン」の概要

## 名称・計画期間

長期経営計画「Evolution Plan」(=Eプラン)  
(2010～2021年度 12ヶ年)

## 長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

## 長期数値目標

### 2021年度における連結決算数値

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10%以上
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,500億円以下 7倍以下

※ EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

# 中期経営計画「E1プラン」の概要

## 名称・計画期間

中期経営計画「E1プラン」(2010～2012年度 3ヶ年)

## 基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの開業を踏まえ、鉄道事業の収益力を更に強化すると共に、グループ全体のイメージアップや当社沿線地域の活性化を推進する。
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進する。
- ◎ 引き続き相応の営業キャッシュフローを確保すると共に、減価償却費の範囲内での設備投資の実施を原則とし、財務体質の強化を図る。
- ◎ 将来にわたり安定的な事業成長を実現するため、投資案件を選別し、投資規模の適正化を推進する。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を更に強化する。

## 京成電鉄株式会社及び連結子会社48社、持分法適用関連会社6社

### 連結子会社

#### 運輸業：

北総鉄道(株)／千葉ニュータウン鉄道(株)／京成バス(株)／千葉交通(株)／千葉中央バス(株)／千葉海浜交通(株)／千葉内陸バス(株)／成田空港交通(株)／ちばフラワーバス(株)／ちばレインボーバス(株)／東京ベイシティ交通(株)／ちばグリーンバス(株)／京成タウンバス(株)／ちばシティバス(株)／京成トランジットバス(株)／京成バスシステム(株)／帝都自動車交通(株)／帝都自動車交通(株)(墨田G)／帝都自動車交通(株)(大森G)／市川交通自動車(株)／成田タクシー(株)／(株)千葉交タクシー／船橋交通(株)／合同タクシー(株)／西千葉タクシー(株)／かずさ交通(株)／三田下総交通(株)

#### 流通業：

(株)京成ストア／(株)コミュニティー京成／(株)水戸京成百貨店／京成バラ園芸(株)／(株)ユアエルム京成

#### 不動産業：

京成不動産(株)／京成ビルサービス(株)／京葉商事(株)

#### レジャー・サービス業：

(株)イウォレ京成／筑波観光鉄道(株)／京成ホテル(株)／(株)千葉京成ホテル／(株)京成エージェンシー／京成トラベルサービス(株)／京成ハーモニー(株)

#### 建設業：

京成建設(株)／京成電設工業(株)

#### その他の事業：

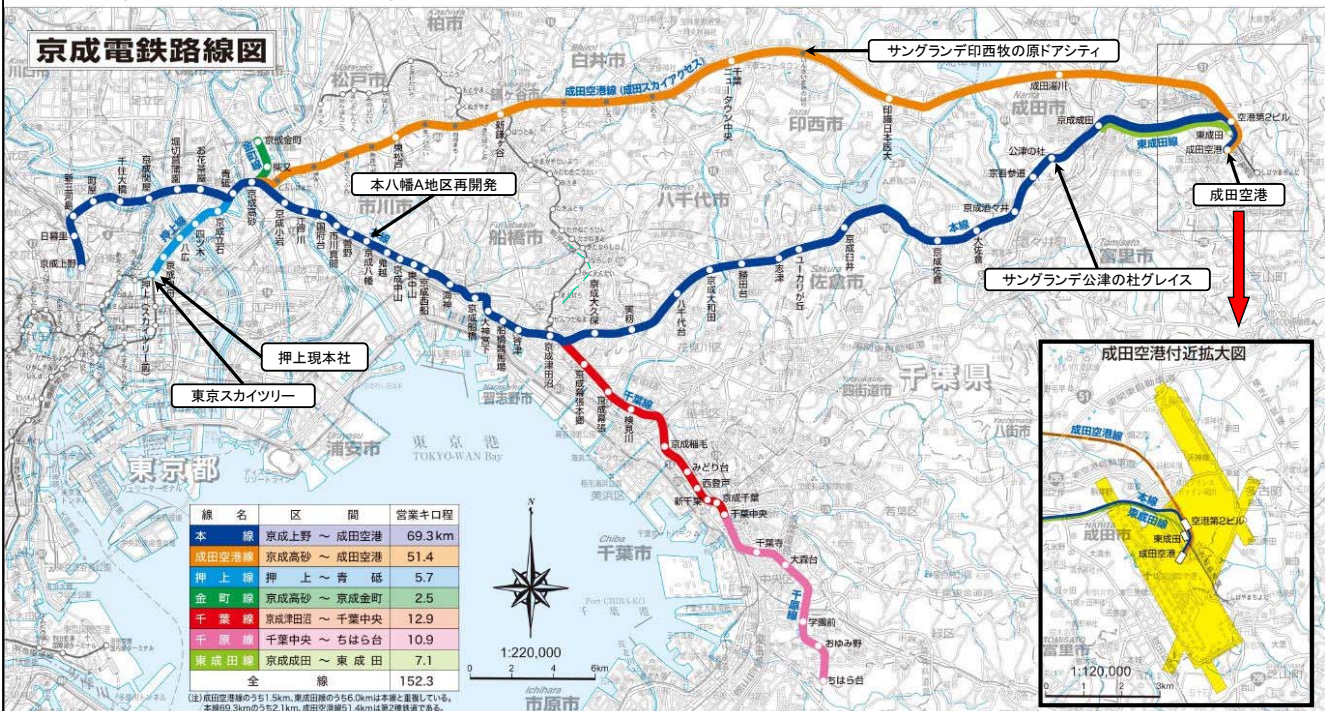
京成車両工業(株)／京成自動車工業(株)／(株)京成保険コンサルティング／(株)京成ドライビングスクール

### 持分法適用関連会社

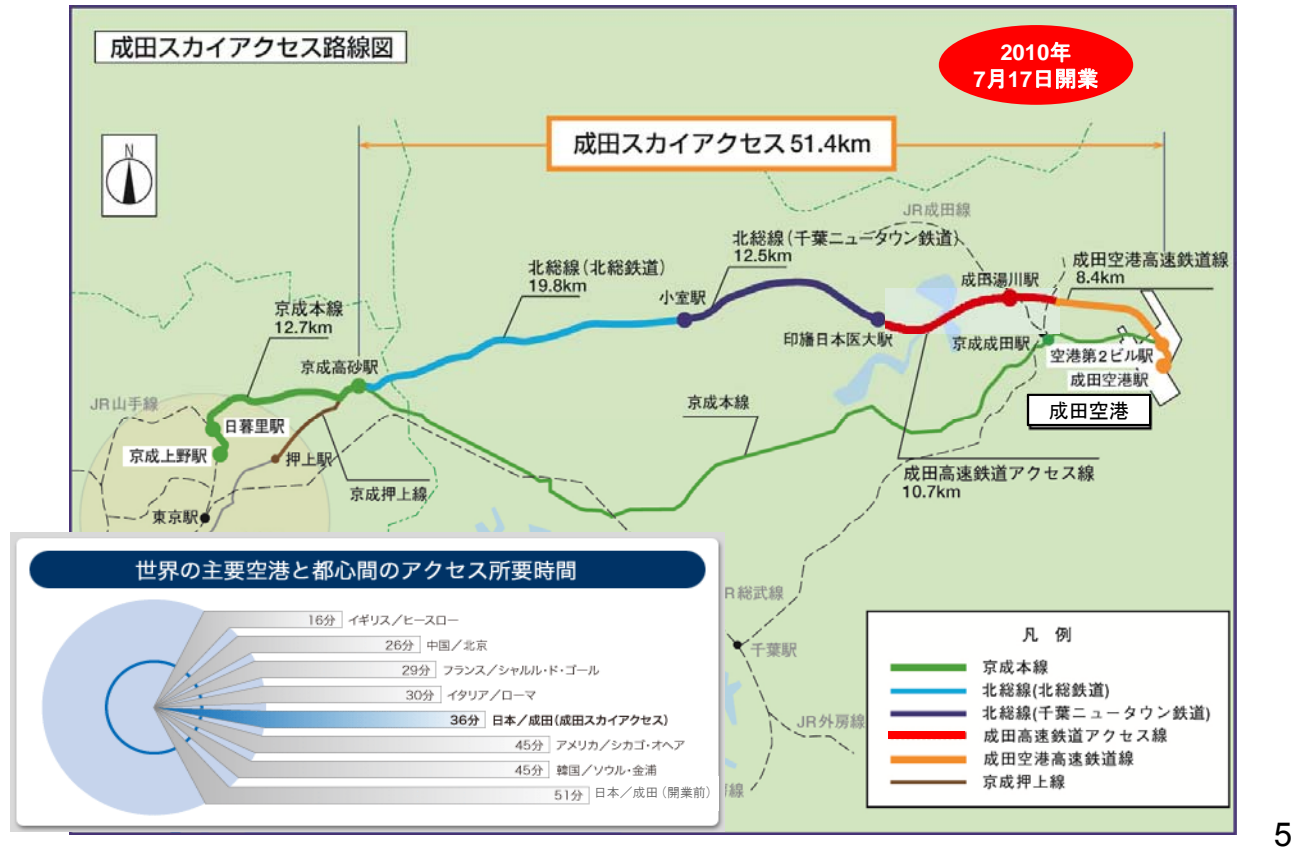
(株)オリエンタルランド／新京成電鉄(株)／関東鉄道(株)／小湊鉄道(株)／東京空港交通(株)／成田空港高速鉄道(株)

# 鉄道事業①

## ◇京成線及び関連鉄道路線図



## ◇成田スカイアクセスの概要



## ◇ダイヤ改正(2012年10月21日実施)

- 成田空港の利用動向に対応した、利便性の高いダイヤを作成  
(京急蒲田駅付近連続立体交差事業の完成を受け、大幅なダイヤ改正を実施)

### (1) 成田空港早朝到着のスカイライナーを設定

(改正前) 上野6時30分発、成田空港7時14分着  
 (改正後) 上野5時58分発、成田空港6時42分着 従来より**32分**早く成田空港に到着

### (2) 需要の高い時間帯の上りスカイライナーを増発

成田空港発14時台、15時台、16時台の上りスカイライナーを約**20分間隔**で運転

### (3) アクセス特急の所要時間を短縮

日中時間帯のアクセス特急の停車時間等の見直しを実施し、所要時間を短縮

区間		改正前	改正後	短縮時分
下り	押上→成田空港	59分	55分	4分
	羽田空港→成田空港	103分	96分	7分
上り	成田空港→押上	61分	52分	9分
	成田空港→羽田空港	104分	94分	10分



## ◇連続立体化工事の推進

### 墨田区内連続立体化工事（押上～八広駅間）

- ・2009年8月 仮下り線切替
- 2010年8月 仮上り線切替
- 2010年12月 2次仮下り線切替
- 2011年7月 2次仮上り線切替
- ・事業区間内8箇所の踏切を廃止



墨田区内連続立体化工事 押上駅～京成曳舟駅間  
計画線高架橋

### 葛飾区内連続立体化工事（四ツ木～青砥駅間）

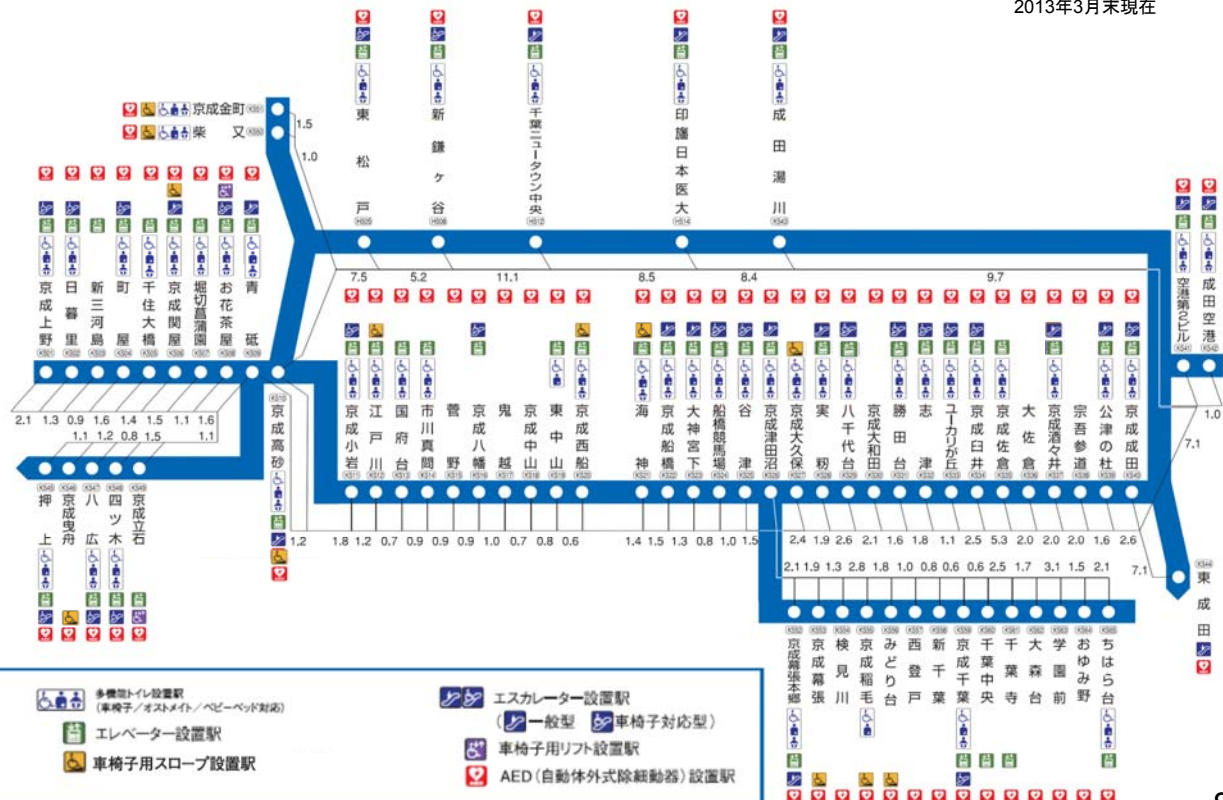
- ・用地買収並びに調査を実施中
- ・事業区間内11箇所の踏切を廃止



京成曳舟駅高架化完成予想図

## ◇バリアフリー施設整備状況

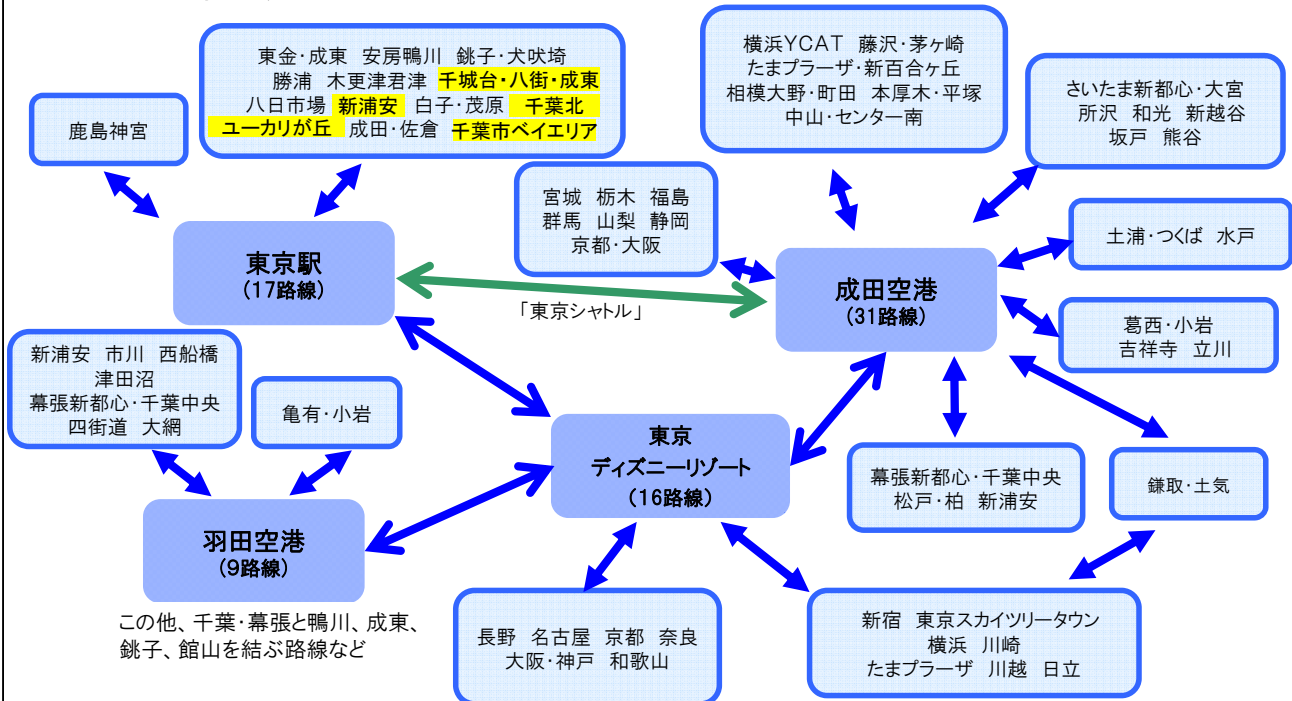
2013年3月末現在



# バス事業①

## ◇高速バスの路線展開

当社グループは成田空港、東京ディズニーリゾート、東京駅、羽田空港の4拠点を中心に全74路線を展開



注1. 黄色背景は「マイタウン・ダイレクトバス」  
(いずれも東京駅発着)

注2. 路線数は、2013年3月末現在

# バス事業②

## ◇成田空港LCC需要への対応(低料金・早朝深夜便の設定)

### 東京シャトルの運行

#### 〔運行区間〕

東京駅 ~ 成田空港

#### 〔運行便数〕

東京駅発 1日20便(1時30分~20時00分)

成田空港発 1日45便(7時00分~23時15分)

#### 〔運賃(割引運賃)〕

東京駅発・成田空港発 一律900円(注)

#### 〔運行会社〕

京成バス株式会社

成田空港交通株式会社

京成バスシステム株式会社

株式会社リムジン・パッセンジャーサービス



東京シャトル

### ＜ご参考＞

2012年 7月: 運行開始、「デビュープライス」800円、1日30便

2012年 8月: 運行便数を1日30便から、1日34便へと増便

2012年 9月: 運行便数を1日34便から、1日42便へと増便

2012年10月: 「デビュープライス」に代わる割引運賃「粋割」(東京駅発900円、成田空港発1,000円)を開始

2013年 3月: 割引運賃900円(注)を開始、運行便数を1日42便から、1日65便へと増便

(注) 予約なしで、東京駅発の早朝深夜便に乗車する際の料金は1,000円

## ◇東京スカイツリータウン関連輸送

- |   |  |
|---|--|
| 〔高速〕東京スカイツリータウン～TDR線<br>(2012年5月 新設)                  | 〔一般〕新小岩駅～<br>東京スカイツリータウン前・浅草雷門・寿町線<br>(2012年5月 新設)   |
| 〔高速〕TDR・上野・横浜・東京スカイツリータウン前<br>～奈良線<br>(2012年6月 ルート変更) | 〔一般〕亀有駅～<br>東京スカイツリータウン前・浅草雷門・寿町線<br>(2012年5月 ルート変更) |
| 〔高速〕JR土気駅～<br>東京スカイツリータウン前・新宿西口線<br>(2012年8月 新設)      | 〔コミュニティバス〕墨田区内循環バス(3ルート)<br>(2012年3月 新設)             |

## ◇高速バス「マイタウン・ダイレクトバス」

- ・高速道路を利用して郊外の大規模住宅地と都心とをダイレクトに結び、座席定員制で座ったまま乗り換えなしで移動できる、「安くて、便利で、快適なバス」を提供
- ・主なターゲットは、「バス+電車」で都内へ通勤等をされているお客様
- ・全路線で、通常運賃より150円引きとなるIC割引運賃を実施

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 〔第1弾〕新浦安・TDR～東京駅・秋葉原駅線<br>(2009年3月)   | 〔第4弾〕八街・千城台～東京駅・東雲車庫線(2010年9月)              |
| 〔第2弾〕千葉北IC周辺地区～<br>東京駅・東雲車庫線(2009年5月) | 〔第5弾〕千葉市ベイエリア～<br>東京駅・国際展示場駅・東雲車庫線(2012年4月) |
| 〔第3弾〕ユーカリが丘～東京駅・東雲車庫線<br>(2010年9月)    |   |

# タクシー事業

## ◇配車効率の向上

### デジタル共同無線の導入

- ・京成グループのタクシー会社において、デジタル共同無線の導入を推進
- ・同一・隣接営業地域内のタクシー会社が共同配車することで、配車効率の向上及び導入・運営コストを削減

<デジタル共同無線導入済の会社>(2013年3月末現在)

合同タクシーに共同配車センターを設置

①「東葛地域」13社計176台

合同タクシー・スタータクシー・小金交通

船橋交通に共同配車センターを設置

②「京葉地域」15社計327台

船橋交通・市川交通自動車・三田下総交通・

舞浜リゾートキャブ・習志野タクシー

③「千葉地域」11社計53台

西千葉タクシー



●: 共同配車センター



## ◇賃貸資産の拡充(E1プラン期間内の主な新規稼働物件)



### <賃貸施設開発>

所在地 台東区浅草  
 規模 地上11階地下1階建  
 延床面積 約4,400㎡  
 用途 ビジネスホテル  
 賃貸開始 2012年3月



### <賃貸住宅開発>

所在地 船橋市本町(京成船橋駅前西口)  
 規模 地上7階建・地上9階建(2棟予定)  
 延床面積 約3,500㎡  
 用途 賃貸住宅  
 賃貸開始 2013年1月

## ◇沿線活性化に寄与するマンションの分譲(E1プラン期間内の主な販売物件)



### <サングランデ千葉みなと>

所在地 千葉市中央区  
 総戸数 143戸  
 竣工 2010年2月



### <サングランデ公津の杜グレイス>

所在地 成田市公津の杜  
 総戸数 206戸  
 竣工 2013年3月



### <サングランデ 印西牧の原ドアシティ>

所在地 印西市原  
 総戸数 400戸  
 竣工 2010年8月～  
 2013年4月

学研ネクスト推奨「子育てde家庭教育  
 育ベスト住宅プラン」を千葉県分譲  
 マンションで初めて採用



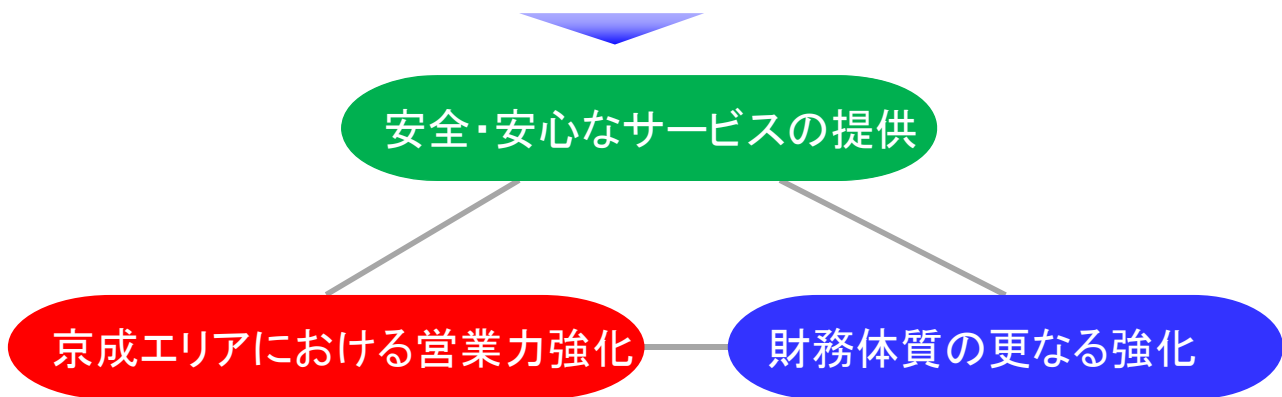
# 中期経営計画「E2プラン」の概要①

## 名称・計画期間

中期経営計画「E2プラン」（2013年度～2015年度 3ヶ年）

## 基本的な考え方

コア事業である運輸業を中心とした堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す。



# 中期経営計画「E2プラン」の概要②

## 基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- ◎ コア事業（運輸業）を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

## <参考資料(1)>設備投資実績及び計画

		実績		計画
		F4プラン 3ヶ年計	E1プラン 3ヶ年計	E2プラン 3ヶ年計
設備投資		764億円	579億円	610億円
業種別	運輸業	548億円	439億円	433億円
	流通業	16億円	17億円	17億円
	不動産業	187億円	113億円	152億円
	レジャー・サービス業	11億円	9億円	8億円
	建設業	1億円	1億円	0億円
	その他の事業	1億円	0億円	0億円
リース設備投資		270億円	159億円	109億円
合計		1,034億円	738億円	719億円
減価償却費		598億円	674億円	688億円

17

## <参考資料(2)>キャッシュ・フロー実績及び計画

	実績		計画
	F4プラン 3ヶ年計	E1プラン 3ヶ年計	E2プラン 3ヶ年計
営業活動による キャッシュ・フロー	1,001億円	1,046億円	1,180億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△546億円	△491億円	△660億円
フリー キャッシュ・フロー	455億円	555億円	520億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△441億円	△528億円	△560億円

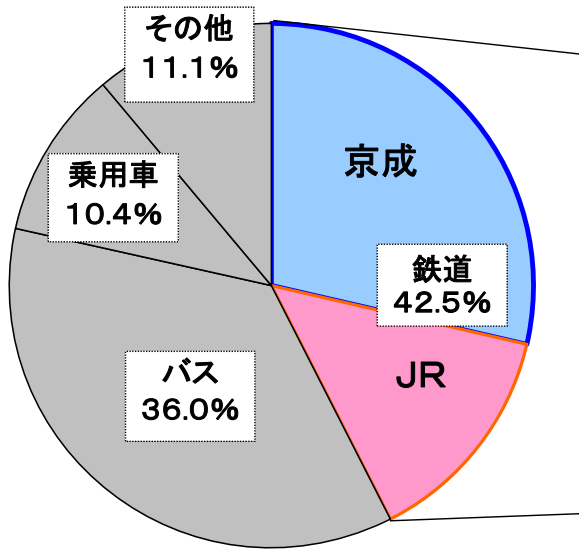
	F4プラン最終年度 2009年度末	E1プラン最終年度 2012年度末	E2プラン最終年度 2015年度末
有利子負債残高	4,212億円	3,935億円	3,550億円

※有利子負債残高にはリース債務を含む

18

# ＜参考資料(3)＞ 成田空港アクセス①

## ◇成田スカイアクセス開業後のシェア(出発旅客数)



	2012年	2010年	増減
出発旅客数(人)	41,743	42,370	△ 627
鉄道利用者数(人)	17,755	16,468	1,287
鉄道の占める割合(%)	42.5	38.9	3.6
京成電鉄	28.6	24.2	4.4
スカイライナー・シティライナー	9.0	7.7	1.3
スカイライナー・シティライナー以外	19.6	16.5	3.1
JR	13.9	14.7	△ 0.8
NEX	9.6	10.6	△ 1.0
NEX以外	4.3	4.1	0.2

調査日:

2012年3月9日(金)0時~24時(24時間)

2010年3月12日(金)0時~24時(24時間)

成田国際空港(株)が2012年7月23日にリリースした「成田国際空港交通アクセス実態調査」を元に作成

# ＜参考資料(4)＞ 成田空港アクセス②

交通機関		経路	所要時分(注1)	運賃・料金
鉄道	京成 	日暮里 (成田スカイアクセス) → 第2ビル 空港	スカイライナー 36分(38分) 一般車[アクセス特急] 52分(54分)	スカイライナー 2,400円 一般車1,200円
		日暮里 (本線) → 第2ビル 空港	一般車[快特] 67分(70分)	一般車1,000円
	JR	東京 (総武・成田線・JRルート) → 第2ビル 空港	成田エクスプレス 50分(53分)	成田エクスプレス (普通)2,940円 (グリーン)4,430円 一般車 1,280円
バス	京成バス 	東京駅 → 第2ターミナル 第1ターミナル	東京シャトル 60分(約70分)	900円(注2)
	リムジンバス	東京駅 → 第2ターミナル 第1ターミナル	(約80分)	3,000円

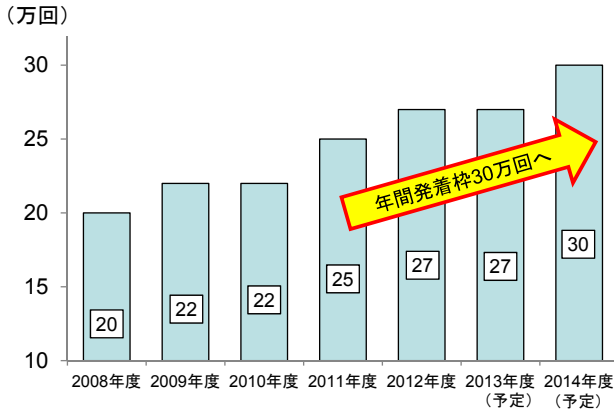
(注1) 空港第2ビル駅(第2ターミナル)までの所要時分、( )内は成田空港駅(第1ターミナル)までの所要時分。

(注2) 予約なしで、東京駅発の早朝深夜便に乗車する際の料金は1,000円



# <参考資料(5)> 成田空港・羽田空港の動向

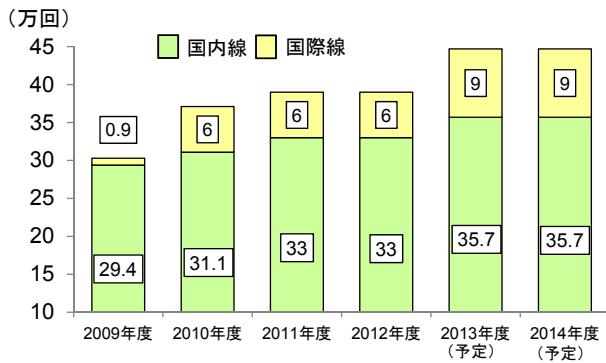
## ◇成田空港発着枠の推移



・2010年10月、「四者協議会(※)」で、「容量拡大(30万回)に係る確認書」を締結  
 ・最速2014年度末に年間発着枠30万回へと拡大予定

※国・千葉県・成田空港周辺9市町・NAAで構成

## ◇羽田空港発着枠の推移



・2010年10月、D滑走路の供用により、国際定期便が就航  
 (発着枠:昼間時間帯3万回、深夜早朝時間帯3万回)

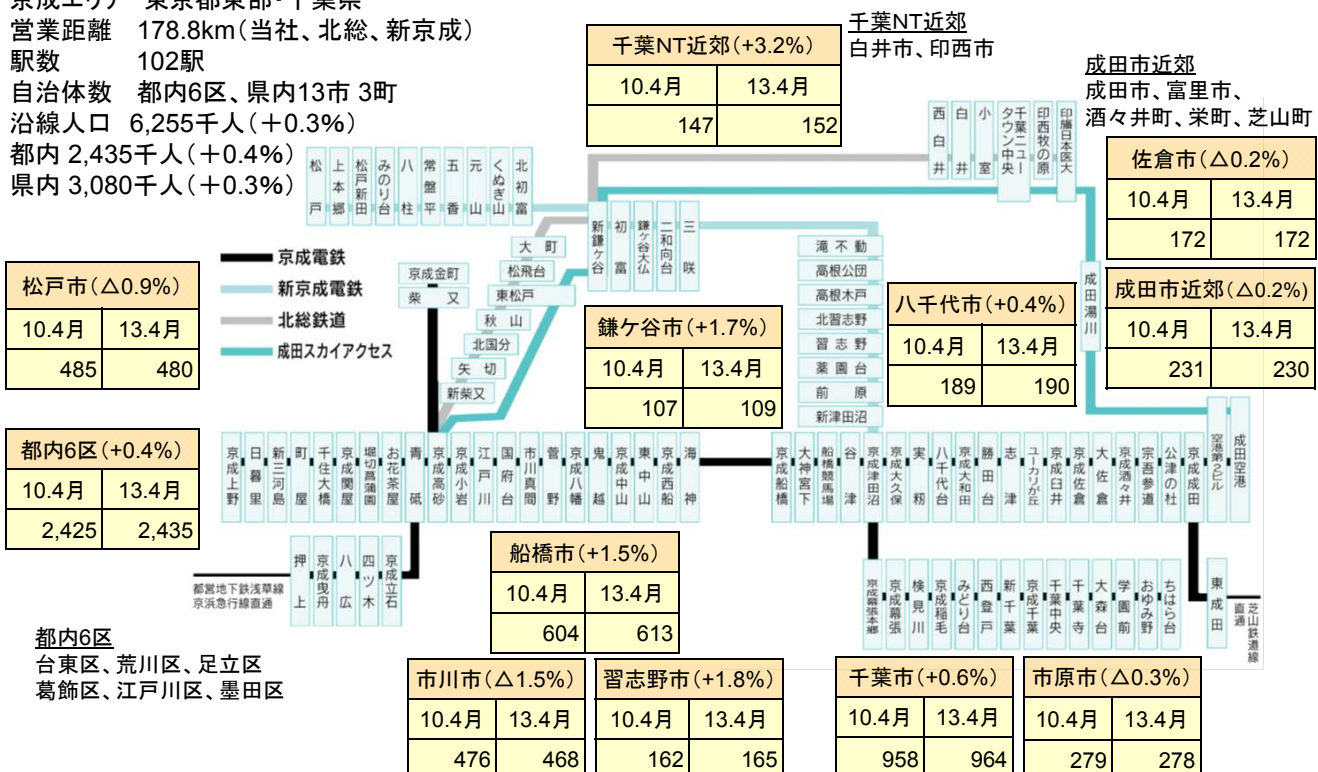
・2013年度中に、国際線の昼間時間帯の発着枠が6万回へと拡大予定

# <参考資料(6)> 沿線人口の推移

## ◇2013年4月、2010年4月(前中期経営計画「E1プラン」初年度)比

単位:千人

京成エリア 東京都東部・千葉県  
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)  
 駅数 102駅  
 自治体数 都内6区、県内13市 3町  
 沿線人口 6,255千人(+0.3%)  
 都内 2,435千人(+0.4%)  
 県内 3,080千人(+0.3%)



数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。  
実際には、様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。